

第86回 東京女子医科大学学会総会

The 86th Annual Meeting of the Society of Tokyo Women's Medical University

■ 総会 (書面開催)

■ シンポジウム 13:00~15:00

座長 (東京女子医科大学病院 病院長) 田邊一成

13:10
~
13:25

村垣善浩 (東京女子医科大学 先端生命医学研究所)

AI×ロボットの実装を目指す高機能版スマート治療室
Hyper SCOT

5大学12企業の連携で、我々はスマート治療室SCOTを開発した。部屋自体が単体医療機器として治療を遂行する室であり、3タイプで計100例の手術を施行した。術中MRI装置等基本機器をパッケージ化、手術室全機器をネットワーク化、将来AI化により意思決定を支援し、国産手術ロボットや集束超音波治療ロボが活躍する治療室にしたい。

13:25
~
13:40

高木敏男 (東京女子医科大学 泌尿器科)

泌尿器科領域におけるロボット手術の現状

泌尿器科領域におけるロボット支援手術は前立腺癌に対する根治的前立腺全摘除術が2012年に保険収載されてから、腎癌に対する腎部分切除術、膀胱癌に対する根治的膀胱全摘除術、腎尿管移行部狭窄症に対する腎盂形成術、女性骨盤臓器脱に対する仙骨脛固定術が順次承認されている。当院でもいち早くロボット支援手術を導入し、腎部分切除術においては、約1300例に施行している。当科での活動を中心に、その手技や成績を中心に供覧する。

13:45
~
14:00

舟本 寛 (東京女子医科大学 産婦人科)

産婦人科領域におけるロボット支援下手術の現況

ロボット支援下手術は婦人科領域においては良性疾患に対する子宮全摘術、初期子宮体癌に対する子宮悪性腫瘍手術、骨盤臓器脱に対する仙骨・脛固定術に対して保険適応がある。今後はその特性を利用し、子宮頸癌に対する広汎子宮全摘術や子宮体癌に対する傍大動脈リンパ節郭清術など高難度手術にも応用され、適応範囲が拡大されることが期待される。

14:00
~
14:15

神崎正人 (東京女子医科大学 呼吸器外科)

呼吸器外科ロボット手術の現状

本邦における呼吸器外科ロボット手術(RATS)は、2018年4月に肺悪性腫瘍、悪性縦隔腫瘍、良性縦隔腫瘍に対する手術が保険適応となった。VATSの問題点を改善すべく、2012年より縦隔腫瘍のRATSを開始し、2020年2月までに肺悪性腫瘍136例、縦隔腫瘍74例、肺悪性腫瘍+縦隔腫瘍4例の計214例のRATSを施行した。重篤な合併症はなく、RATSの手術成績は良好であった。

14:20
~
14:35

宇山一郎 (藤田医科大学 総合消化器外科)

消化器外科におけるロボット手術の最前線

消化器外科領域におけるロボット支援手術は、食道、胃、直腸、膵臓の切除術が保険収載となり、普及しつつある。しかし、厳格な施設・術者基準の設定、学会指針の遵守など、保険診療を行うにあたって多くの制限がある。我々は、2009年より消化器疾患に対するロボット支援手術を開始し、現在までに1000例以上施行してきたので、その手技と成績を供覧する。

14:35
~
14:50

中村喜次 (東京女子医科大学 心臓血管外科、千葉西総合病院 心臓血管外科)

ロボット支援下心臓手術の最前線

2018年4月にはロボット支援下僧帽弁形成術(RMVP)が保険収載された。しかしながらRMVPは人工心臓+心停止下という特殊な環境下での縫合を多用した再建手術であり、他領域のロボット支援下手術と異なる複雑性が存在する。本発表では我々が経験したRMVPの初期連続100例の手術成績、問題点を共有し議論する。



公開シンポジウム

ロボット手術の最前線

2020年

9月26日 土曜日

オンライン会場

* 院外ネットワークをご利用ください
* 事前予約の期限は9月15日まで

要予約 参加無料

13:00~15:00

先着
500名

<主催> 東京女子医科大学学会 <協力> 株式会社ステージエン
<問合せ先> 東京都新宿区河田町8-1
東京女子医科大学 彌生記念教育棟1階図書館内 学会室
Tel・代表 03-3353-8111
URL <http://www.twmu.ac.jp/gakkai/>



公式ホームページ